

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時資料配布：金沢・富山・福井・京都・神戸の各経済記者クラブ、大津市政記者クラブ)

北陸・関西連携会議 第12回会頭会合の 開催及び取材方お願い

[お問合せ]大阪商工会議所 地域振興部(岡田、高田)

TEL:06-6944-6323

携帯(当日9月30日のみ):070-7817-3111

- 金沢・富山・福井・京都・神戸・大津・大阪の7商工会議所は、「北陸・関西連携会議」の会頭会合を9月30日(月)に富山市内(オークスカナルパークホテル 富山)で開催する。
- 同会議は、北陸新幹線の長野～金沢間開業に際し、京都・神戸・大阪の3商工会議所から働きかけて2015年7月に設置。北陸・関西の一層の連携強化や、北陸新幹線の早期整備に向け、意見交換や共同アピール・決議の採択等を行ってきた。
- 当日は、「北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議」を採択する予定。
※「北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議」は、採択後、会場および各地の記者クラブにて配布する予定です。

1. 開催概要

【日時】 2024年9月30日(月) 13:30～14:45

【場所】 オークスカナルパークホテル 富山 2F「鳳凰東の間」(富山市牛島町11-1)

【次第】

取材
可能
まで
が

- ①開会挨拶、開催地挨拶
- ②代表幹事の選任について
- ③令和6年能登半島地震からの復旧、復興について
- ④北陸・関西連携事業の進捗報告
- ⑤北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議(案)について
- ⑥講演「北陸新幹線の大阪延伸に向けた最近の動向等」
<講師>独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北陸新幹線建設局 副局長 田村 直親 氏
- ⑦意見交換
- ⑧閉会挨拶

2. 取材について

- ◆「①開会挨拶、開催地挨拶」～「④北陸・関西連携事業の進捗報告」(13:30～13:48)まで、取材(ペン、カメラ撮り)可能です。取材に際しては、資料2「取材要領」をご覧ください。
- ◆会合終了後(14:50頃)、同会場(2F「鳳凰東の間」)にて、代表幹事2名(大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾、福井商工会議所 会頭 八木 誠一郎)と開催地会頭(富山商工会議所 会頭 庵 栄伸)による囲み取材を10分程度行います。
- ◆ご取材いただける場合は、9月26日(木)までに、資料1「取材申込書」にご記入の上、E-mail(chishin@osaka.cci.or.jp)もしくはFAX(06-6944-6330)にてお申込みください。

以上

<添付資料>

- ・(資料1)取材申込書
- ・(資料2)取材要領
- ・(資料3)出席予定者名簿
- ・(資料4)北陸・関西連携会議 概要

取材申込書

大阪商工会議所 地域振興部 岡田宛

E-mail : chishin@osaka.cci.or.jp

FAX : 06-6944-6330

「北陸・関西連携会議」第12回会頭会合

会社名	
ご所属・お名前	
合計参加人数 ※カメラスタッフ等の同行者を含めた人数をご記入ください。	人
ご連絡先（電話）	
ご連絡先（E-mail）	
カメラ ※カメラ有りの場合、【 】内に○をご記入ください。	【 】ムービー / 【 】スチール

北陸・関西連携会議 第12回会頭会合 取材要領

1. 日時 2024年9月30日（月）13:30～14:45
2. 場所 オークスカナルパークホテル 富山 2F「鳳凰東の間」（富山市牛島町11-1）
※会頭会合終了後、代表幹事2名（大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾、福井商工会議所 会頭 八木 誠一郎）、開催地会頭（富山商工会議所 会頭 庵 栄伸）による囲み取材を行います（14:50～15:00予定）。
3. 次第
 - ①開会挨拶、開催地挨拶
 - ②代表幹事の選任について
 - ③令和6年能登半島地震からの復旧、復興について
 - ④北陸・関西連携事業の進捗報告
 - ⑤北陸新幹線の早期全線開業の実現に向けた決議（案）について
 - ⑥講演「北陸新幹線の大阪延伸に向けた最近の動向等」
<講師>独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
北陸新幹線建設局 副局長 田村 直親 氏
 - ⑦意見交換
 - ⑧閉会挨拶
4. 出席者
(資料3) 出席予定者名簿をご参照
5. 取材に関して
 - 次第の「①開会挨拶、開催地挨拶」から「④北陸・関西連携事業の進捗報告」（13:30～13:48）まで、取材（ペン、カメラ撮り）可能です。（音声分配器の用意はありません）
 - 取材受付は、12:30～、2F「鳳凰東の間」前にて行います。受付で名刺を1枚申し受けますので、ご準備のほど、よろしくお願ひします。カメラスタッフなど複数名で取材される場合は、全員分の名刺をご用意ください。
 - 取材に際しては、自社腕章等を見えやすいところに必ず着用してください。
 - 取材中は担当者の指示、誘導に従っていただきますようお願いいたします。
 - 「④北陸・関西連携事業の進捗報告」終了後、担当者より声がけさせていただきますので、速やかに会場からのご退席をお願いいたします。
 - 会頭会合終了後、代表幹事2名（大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾、福井商工会議所 会頭 八木 誠一郎）、開催地会頭（富山商工会議所 会頭 庵 栄伸）による囲み取材（14:50～15:00予定）を、同会場（2F「鳳凰東の間」）で行います。
 - 囲み取材の際も音声分配器の用意はありません。

北陸・関西連携会議 第12回会頭会合 出席予定者名簿

日時：2024年9月30日（月）13：30～14：45

場所：オークスカナルパークホテル 富山 2F 「鳳凰東の間」（富山市牛島町11-1）
（敬称略・順不同）

【講師】

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局 副局長 田村 直親 氏

【メンバー】

金沢商工会議所	会 頭	安宅 建樹	（株式会社北國銀行 相談役）
	専務理事	普赤 清幸	
富山商工会議所	会 頭	庵 栄伸	（株式会社北陸銀行 代表取締役会長）
	専務理事	上田 祐正	
福井商工会議所	会 頭	八木 誠一郎	（フケビ化学工業株式会社 代表取締役会長CEO）
	専務理事	嶋田 浩昌	
京都商工会議所	副 会 頭	田中 誠二	（学校法人大和学園 理事長）
	専務理事	兒島 宏尚	
神戸商工会議所	会 頭	川崎 博也	（株式会社神戸製鋼所 特任顧問）
	専務理事	楠山 泰司	
大津商工会議所	副 会 頭	橋本 和正	（株式会社関西みらい銀行 特別顧問）
	専務理事	廣瀬 年昭	
大阪商工会議所	会 頭	鳥井 信吾	（サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長）
	専務理事	井内 摂男	

【オブザーバー】

国土交通省北陸信越運輸局 局長 佐橋 真人 氏
西日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 地域まちづくり本部副本部長 武市 信彦 氏
執行役員 金沢支社長 石原 利信 氏

以 上

北陸・関西連携会議 概要

1. 設立趣旨

- 北陸と関西は、豊富な地域資源を有し、人的交流も盛んである。しかし、リニア中央新幹線の東京－名古屋間先行着工、北陸新幹線の敦賀延伸といった動きを踏まえれば、今、北陸・関西両地域が連携し、観光客増大やビジネス交流の促進に取り組むことは、地方創生の模範例を示すことになる。
- そこで、北陸・関西の商工会議所が連携して、観光振興はもとより、幅広いビジネス交流事業を実施するとともに、そのために必要な北陸新幹線の大阪延伸の早期実現策等を検討し、必要に応じて、共同提言の取りまとめ等を行う。

2. 設置日

2015年7月17日

3. 組織概要

- 金沢・富山・福井・京都・神戸・大津・大阪の7商工会議所
※大津商工会議所は、2015年12月の第2回会合から参加
 - 事務局：大阪商工会議所
 - 必要に応じ、両地域の他の商工会議所にも呼び掛ける
- 会頭による会合を開催し、北陸・関西の連携を促進する。
- 専務理事による会合を開催し、必要事項を決定する。
- 各種連携事業を具体化する際には、事務局担当者による会合を適宜開催する。
- 必要に応じ、西日本旅客鉄道株式会社の「関西・北陸交流会」とも連携する。

4. 開催実績

	会頭会合	専務理事会合
2015年度	9月 2日 第1回：金沢 12月21日 第2回：福井	9月16日、11月19日、 2月18日
2016年度	4月25日 第3回：神戸 10月24日 第4回：富山	
2017年度	5月30日 第5回：京都	10月18日、12月13日
2018年度	5月 9日 第6回：大阪	4月18日
2019年度	10月 4日 第7回：大津	9月18日
2020年度	12月 4日 第8回：オンライン	11月13日
2021年度	11月30日 第9回：金沢	11月17日
2022年度	9月 8日 第10回：大阪	8月29日
2023年度	2月 7日 第11回：神戸	1月31日
2024年度	9月30日 第12回：富山（※予定）	9月10日

5. 申し合わせ（第1回会頭会合〔2015年9月2日〕にて採択）

北陸・関西の一層の連携強化に向けた申し合わせ
～北陸・関西は地方創生の先導役に～

地方創生が大きな政策課題となる中、我々6商工会議所会頭は、本日の「北陸・関西連携会議」において、両地域一体となった力強い成長実現に向け、一層緊密に連携することで合意した。

まずは、下記の観光振興、インフラ整備、ビジネス交流事業に精力的に取り組んでいくことを申し合わせる。

記

1. 国内外からの観光客増大を一過性に終わらせることなく、さらに北陸・関西への誘客を図るため、広域観光周遊ルートの形成など多様な観光魅力の発掘や相互プロモーションを強化する。
2. 北陸・関西の成長力を高める重要な基幹インフラである北陸新幹線に関し、国や地方自治体等と連携しながら大阪延伸の早期実現を図る。
3. 地方創生の担い手である中小企業の販路開拓、新商品・サービスの開発など、業容拡大を強力にバックアップする。このため、域内企業間のビジネスマッチングに注力する。
4. 市場規模の拡大が期待される新しい産業分野への円滑な参入など、中小企業の成長力強化に向けた支援策を拡充する。このため、各種情報提供に一層力を入れるとともに、域内の企業間連携をサポートする。

以 上